

平成 29 年度運営目標 低進捗事項一覧 (9 月末時点)

部局名	低進捗の運営目標		現在の進捗状況 (数値目標がある場合は進捗率)	低進捗の要因・理由	今後の対応
	運営目標	達成手段(数値目標)			
知事室長	1 既存の広報媒体の強化と、地域情報「ファクトブックシステム」と連携した”KYOTO SIDE”の本格稼働により府政情報を強力に発信します。	②メディア向けの地域情報を集約する地域情報ファクトブックシステムの充実を図るとともに、情報発信力を強化するため、各種情報配信メディアとの連携を進めつつ、Instagram などの新たな SNS の窓口を増やすことで、Facebook や特設サイトを活用した京都府ファンコミュニティサイト”KYOTO SIDE”のファンを増やします。 <Facebook ページのいいね! 25 万人>	Facebook ページのいいね! 22,152 人	今年度に入り、“KYOTO SIDE”の本格運用を開始したところであるが、コンテンツの更なる充実やキャンペーンの仕掛けなどが不十分であったため。	11 月以降に Facebook 等からの新たな情報発信を試行実施する準備に入ります。また、実施時には外部専門家による定期的な解析を行い、PDCA サイクルで発信力を強化します。
総務部	11 投票率向上のため、主権者教育を推進し、府民の政治参加意識の醸成を図ります。	・府、市町村教育委員会や学生団体と連携した小中高大学等への出前講座を実施 <出前講座 22 校 (㊟実績 21 校)> ・選管出前講座講師テキストの作成 <テキストを使用した市町村選管職員対象研修を実施 1 回 (㊟新規)>	・出前講座実施済校数 4 校 ・講師用テキストは、今年度完成予定	<出前講座> 秋に 10 校実施する予定であったが、衆議院議員選挙及び府議会議員補欠選挙の執行もあり、選挙啓発等を重点的に実施したことによる。	選挙後に予定していた 8 校に加え、新たに実施するよう学校と調整を行う。

部局名	低進捗の運営目標		現在の進捗状況 (数値目標がある場合は進捗率)	低進捗の要因・理由	今後の対応
	運営目標	達成手段(数値目標)			
警察本部	3 交通死亡事故抑止対策を推進します。	産学官連携による反射材等の開発や高齢運転者に対する年齢による身体機能の変化を実感できる安全教育等を推進します。 <高齢者の交通事故死者数 29人以下>	高齢者の交通事故死者数：29人	前年同期と比較し、高齢者が歩行中の事故は減少したものの、高齢運転者による車両同士や車両単独の事故が増加したことにより、高齢者の死者数が増加したもの。 加齢に伴う身体機能の変化(認知機能の低下、視野の狭窄、反射神経の鈍化、筋力の衰え等)が運転に及ぼす影響が要因の一つと考えられる。	高齢運転者対策として、認知機能検査等の適切な運用を図るとともに、運転免許証の自主返納促進に向けた取組を推進するほか、加齢に伴う身体機能の変化を自覚していただく参加・体験・実践型の交通安全教育や、安全運転サポート車の普及啓発活動を推進する。 高齢歩行者対策として、参加・体験・実践型の交通安全教育のほか、反射材の直接貼付活動による着用促進や、高齢者宅の家庭訪問による個別指導等を強化する。
山城広域振興局	8 健康危機に強いやましろ地域づくり	「やましろ安心・安全宿泊情報」の提供と適正指導(29年度新規) ・やましろを訪れる観光客に「やましろ安心・安全宿泊情報」の提供を行うとともに闇民泊や迷惑民泊等への適正化指導を実施 ・やましろを訪れる観光客に旅館業の許可を受けるなどした安心して宿泊できる民泊情報の発信 <民泊の許可及び届出件数 新規 20件>	旅館業による許可対象施設：6件	いわゆる「民泊」運営の適法化のため、民泊新法成立・施行による届出10件及び旅館業による許可対象施設10件を見込んでいたが、新法(住宅宿泊事業法)の施行が平成30年6月となったため。	新法の施行時期を注視するとともに、引き続き民泊実態調査や違法施設を発見した場合の改善・中止等指導に努める。

部局名	低進捗の運営目標		現在の進捗状況 (数値目標がある場合は進捗率)	低進捗の要因・理由	今後の対応
	運営目標	達成手段(数値目標)			
山城広域振興局	25 農産物を生産する障害者就労施設で働く障害者支援	農産物を生産する障害者就労施設で働く障害者の支援 働く障害者の活躍の場を創造するため、宇治茶苗の栽培を就労場所として活用するとともに、野菜・農産加工品の福菜市(共同直売所)や出張・販売等による農福連携を推進します。(29年度新規) ・宇治茶苗の栽培支援 29年度から30年度にかけて、研修畑での実地研修を実施 ・福菜市(共同直売所)の売上げアップ及び地域行事等への出張販売を実施 <月平均売上額 42,400円(28年度実績 41,200円)、出張販売 7回(28年度実績 8回)>	月平均 17,648円	管内大口出品者の事業所が自立され、福菜市(共同直売所)以外へ進出され、供給不足気味となったため。	冬野菜の季節に向けて、新しい野菜を増やすなど工夫しながら、引き続き売り上げアップに努める。
中丹広域振興局	6 『森の京都』づくりの推進等による森林文化の発信と林業の活性化を図ります。	(大江山から天橋立をつなぐ「浪漫古道」づくり) ・大江山周辺古道の石畳復旧整備	未着手	予定していた補助金等の財源が確保できなかったため	—
	15 郷土を愛し、未来を担う人材を育成します。	地域を担う若者の定着とリーダーの育成を図ります。 ・「海の京都未来っ子プロジェクト」による小中学生の地域体験の実施 <参加者:1,200人(実績:1,120人)>	参加者 340名 (28.3%)	民間の補助プログラムに不採択となったことに伴い、事業内容を大きく見直したため。	—